

# 国民皆保険守るため 全力を尽くす

協会は、第59回通常評議員会を5月20日、M&Dホールで開いた。

全国保険医団体連合会・住江憲勇会長が挨拶。

現行の保険証が廃止されようという重大局面だとし、「何が狙われているか。ビッグデータを集積した医療の標準化、すなわち安上がり医療。社会保障個人勘定による社会保障抑制。営利資本によるビッグデータ活用。新たな国民への収奪、搾取のツールだ」と岸田政権を強く批判。保団連、協会、共に地域医療を守るため運動を強めたいと協力を呼びかけた。

議事では、平尾清司副理事長が2021年・2022年度情勢を報告。22年度の改定で「歯科医療ではわずか0.69%の増加。金額にして96億円程度。防衛費に43兆円も費やせば医療費・福祉分野への配分が少なくなる」というのは必然。低医療費政策には、断固反対していく所存だ」と情勢と協会の姿勢を示した。

そのほか2021・22年度方針や決算、規約・会費規定改定案、理事・監事など、全議案を可決した。①「軍拡・カシノではなく、国民の命、健康、暮らし、最優先の政治へ全力を尽くす」、②「保険証廃止に反対し国民皆保険を守るために全力を尽くす」の二つの決議を採択した。



20日、M&Dホールで小澤力氏を答弁する。

は、▽地区講習会の講師料について（玉川明弘氏・大阪市東部地区）、▽会員サービス向上について（平川光彦氏・北大阪地区）などの質問があった。5号議案では、新たに1人の理事と1人の監事・監事（覧を掲載）

6月11日(日) 10時~12時  
M&Dホール+Zoom  
保険でよい歯科医療を大阪連絡会  
市民講座「あなたも隠れ難聴?!」  
ご参加はコチラ→  
(前号のQRコードに誤りがありました)



事を含め、提案した。各質問に小澤力理事長が答弁した上で、原案通り1号議案と4号議案は賛成多数で、2号議案、3号議案と5号議案は全員一致で可決した。(2面に決議全文、3面に理事・監事 覧を掲載)

## 第3回理事会 理事長に小澤力氏を選出

協会は、5月20日の第59回通常評議員会で2023年・24年度の理事・監事を選出したことを受

は戸井逸美、富本昌之、平尾清司、矢部あづさ、吉田裕志各氏を選出した。いずれも留任。



ある、反対だという意見書を出した。意見書を読み、私たちは防衛のため、抑止のため相手国を攻撃することはないという理由で、政府の説明を受け入れていた。と

大いに意見交流を  
午前中は分科会が開かれます。先生方が日常的に取り組んでおられる診療上の工夫、地域での活

## 第9回 日常診療経験交流会 参加を呼びかけます

実行委員長 医科協会・井上美佐副理事長

会場は大阪府保険医会館です。近々建て替える本会館で日常診療経験交流会を行うことは最後となります。

テーマはフレイル

テーマは「フレイル新局面」  
フレイルとはご存知のように、加齢や疾患によって身体的、精神的な機能が衰えていく状態です。昨今のコロナ禍の中では、感染して入院したり自宅やホテルに軟禁されたりしたことで、筋力が低下し移動が困難になったり、認知症が進んだりした例が少なくありませんでした。感染しなくてもデイサービスが休止され自宅に籠っていても自立困難になっていった高齢者もいました。高齢者のみならず、普段スポーツで鍛えている若い方がコロナ陽性でホテル療養し、退所する際にはふらついて転倒しかけたという例もあります。また、フレイルには口腔内のフレイルや、眼や耳のフレイルもあるといわれます。コロナ禍の残した傷跡として、全科的にフレイルを考えていくときではないでしょうか。

動の様子などを発表いただく場です。多数ご参加いただき大いに意見を交わしましょう。午後はシンポジウムを開催します。寝たきりや認知症、嚥下障害などのフレイルの実態を各々の専門科の先生方が報告・議論しますが、聞き心えのある内容が期待されま



チラシ同封しています

シェイクハ  
ンドといえは  
個人同士では  
仲良くしまし

ようという挨拶だが国際政治の世界ではちょっと違うのをご存知だろうか。公にどっちが格上か確認の意味合いがある。外国の要人とレセプションで握手をする時、迎える側の首脳は必ず向かって左側に立って待っている。西洋では手の甲を見せた方が格上ということになるので、客はそうならないように笑顔を見せながら無理やり握手の手を縦に持っていくのである。こうして対等だとアピールする。

ところが岸田総理はG7の会場で、最初から右側に立っていた。日本ではそのような握手の習慣が無いから勝手にどうぞということなのだろうか。相手に花を持たせている形だ。もちろん相手側は満面の笑み。ウクライナとロシアの戦争はこういう面子にこだわればいつまでも終わらないだろう。勝った負けた、どちらが上というようなことではなく、悲惨な市民のために戦争中止にするという発想はないのだろうか。(T)

6/5  
2023年第1460号  
(毎月5、15、25日発行)

会武 協和 保和 險和 医和 新和 聞和  
大阪府 大阪市 浪速区 幸町1-2-33  
大発行人 和田 幸一 (代表)  
電話 (06) 6568-7731  
http://osk-hok.org/  
定価 年間10,000円 月1,000円  
●1977年5月23日第三種郵便物認可



「話が違っじやないか」

え、不安になっている人たちがじゃないということが分かってくる。むしろ私が目に付くのは、自分たちでこの局面を変えていこう、この問題を

もともと石垣市政は自公政権に推されて誕生した。ほとんど自衛隊を増やす、駐屯地開設も了承、市議会もそれに倣い承。石垣市は政権の意向で進めていく自治体のはずだった。しかし石垣市で昨年末、長射程ミサイル配備については問題

沖縄戦に学ぶ  
沖縄戦に学ぶ必要がある。究極の答えは、軍隊はいざとなったら絶対に市民は守らないということだ。これは古今東西ど

沖縄戦に学ぶ  
沖縄戦に学ぶ必要がある。究極の答えは、軍隊はいざとなったら絶対に市民は守らないということだ。これは古今東西ど

協会直通番号のご案内  
保険請求のご相談や年金・休業保障制度のお問い合わせは直通番号をご利用ください。  
社保研究部 06-6568-7467  
共済部 06-6568-7438